



市長のこぼれ話

キャンプのススメ

ふだん当たり前にあるガスや電気はキャンプでは使えません。ある程度の不便さの中で生活することは、災害時にも役に立ちます。

コロナ禍ではキャンプブームが起これ、キャンプ場の予約が取れないという話を聞きました。現在は少し落ち着いたとのこと。

この機にキャンプデビューしてはいかがでしょう。最初から遠出はハードルが高いという方、小平市には子どもキャンプ場があります。ぜひご利用ください。

小平市長 小沼 浩子



市立小・中学校児童・生徒の学校給食費を無償化

保護者の教育費負担を軽減するため、令和6年度の市立学校の給食費を無償化します。1学期分の給食費は、2学期中に返金する予定です。9月以降の給食費の徴収は行いません。



期間 令和6年4月～令和7年3月

対象 市立小・中学校で学校給食を喫食している児童・生徒

※詳しくは、学校を通じて保護者の皆さんにお知らせするほか、小平市ホームページ (ID113173) でもご覧になれます。

問合せ 学校給食センター ☎042(345)2821

7月13日(土) オープン 東部公園プール

利用時間 7月13日(土)～9月1日(日)(7月16日(火)～18日(木)を除く) 午前9時30分～午後5時

※天候などにより、臨時に中止することがあります。

※駐車場はありません。車での来場はご遠慮ください。

費用 大人350円、中学生以下100円(2時間以内)

※自動券売機で入場券を購入してください(時間超過の場合は超過料金が必要)。

※ほかに、ロッカー使用料(1回10円)が必要です。

※小学3年生以下は、保護者の付き添い(1人につき子ども2人まで、水着を着用)が必要です。

内容 25mプール、流れるプール、幼児用プール

※流れるプールは一部設備が動作しないため、流れが弱くなっています。



◆事前に注意事項の確認を

利用上の注意事項があります。詳しくは、小平市ホームページ (ID98289) をご覧ください。多くの皆さんが安心して利用できるよう、ご協力をお願いします。

※萩山公園プールは、劣化がひどく、安全が確保できないため、開放を中止します。

問合せ 東部公園プール ☎042(464)1232、文化スポーツ課 ☎042(346)9612

こだいら産規格外野菜で おやこ料理教室



フードコーディネーターの渡部和泉さんから、小平産の規格外野菜を使った料理を学びます。

とき 7月24日(水) 午前10時～午後1時(予定)

ところ 中央公民館実習室

対象 市内在住の小学生とその保護者

定員 24人

※保育6人あります(1歳から就学前まで)。

持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、布巾、マスク、飲み物

申込み 7月8日(月)から、電話で市民課へ(先着順) ☎042(346)9508



ふれあい下水道館

◆夏休み特別学習講座

①今日から君も微生物博士

汚れた水をきれいにしてくれる微生物を顕微鏡で観察して、微生物の自由研究ノートを完成させます。

とき 7月28日(日) 午前10時～11時30分



②今日から君も昆虫博士

昆虫を観察して、昆虫から自然の大切さを学び、昆虫の自由研究ノートを完成させます。

とき 8月4日(日) 午前10時～11時30分



③今日から君も下水道博士

下水道がなかった時代、どんな困ったことが起きて、どのように下水道が進化してきたのかを学び、下水道の自由研究ノートを完成させます。

とき 8月11日(日・祝) 午前10時～11時30分



④今日から君もマンホール博士

キャラクターなどのデザインが描かれていることで注目を集めている、マンホール蓋の不思議に迫り、マンホールの自由研究ノートを完成させます。

とき 8月25日(日) 午前10時～11時30分



撮影：白汚 零さん

©F.C.TOKYO

— 共通 —

対象 小学生(保護者1人まで同伴可)

※申込みは、1人1講座まで。申込み多数の場合は、午後も開催予定です。

※参加者には、各講座の自由研究ノートと下水道グッズを差し上げます。

定員 ①22人、②～④各30人

持ち物 筆記用具

申込み 7月5日(金)から各開催日の前日までに、問合せ先へ(電話可、先着順)

問合せ ふれあい下水道館 ☎042(326)7411

◆下水道展'24東京に小平市が出展

下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器などを展示・紹介する国内最大規模の展示会です。

とき 7月30日(火)～8月2日(金) 午前10時～午後5時

※7月30日は午前10時30分から、8月2日は午後4時まで。

ところ 東京ビッグサイト(江東区有明3-11-1)

申込み ホームページへ

📍検索 下水道展24

問合せ 下水道課 ☎042(346)9846

誤ったごみの出し方で ゴミ収集車の火災事故が発生



毎年、ゴミ収集車の火災事故が発生しています。4月にも2件の火災事故が発生しました。火災の主な原因は、燃やさないごみに混入したスプレー缶やリチウムイオン電池です。

収集時の火災事故は、収集員や付近の住民にとって大変危険ですので、正しい分別をお願いします。



消火活動後の現場検証



火災の原因となったタブレット端末(リチウムイオン電池内蔵)

火災を起こさないための正しい出し方

◆ガスカートリッジ缶・スプレー缶・ライターは 有害性資源の日に

ガスカートリッジ缶、スプレー缶、ライターは使い切ってから、缶とライターに分け、透明か半透明の袋に入れて、有害性資源の日に出してください。使い切ることができない場合は、リサイクルセンターまでお持ちください(平日、午前8時30分～午後5時)。

◆リチウムイオン電池などの小型充電式電池は、必ず機器から取り外して回収ボックスへ

リサイクル協力店(一部家電量販店)、市役所、リサイクルセンター、東部・西部出張所、図書館(中央・喜平・上宿・津田・大沼)、なかまちテラスにある回収ボックスで回収しています(開館中のみ)。※機器から取り外せない場合は、お問い合わせください。

◆携帯電話の電池や電子タバコは、販売店へ

販売店に、引き取りを依頼してください。

※販売店で引き取りをしていない場合は、お問い合わせください。

問合せ 資源循環課 ☎042(346)9535